

令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」 に係る文部科学大臣表彰について

桃井第二小学校学校運営協議会と桃井第二小学校学校支援本部「ももにわ」の取組が、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰に選出されたため、以下のとおり報告する。

1 取組の名称

「地域の教育力を生かし、子供たちに豊かな教育活動を提供し、未来を担う人材を育成する。」

2 取組の背景

○桃井第二小学校では、学校運営協議会設置2年目の令和3年度より、ファシリテーター役を担う委員を中心に、委員と6年生児童との対話や交流活動を毎年継続して実施している。また、学校・地域コーディネーター2名も委員を兼任しており、学校運営協議会で決定した事項を学校支援本部で実施するといった連携体制がとれている。

○毎年度「支援団体代表者会議」を開き、地域住民や保護者の声を丁寧に聞き取ることで、青少年委員や土曜日学校、ひまわりボランティア、読書活動支援チーム、おやじの会やスポーツクラブなど、様々な団体が協力し合う体制を整え、安定した協働活動を行っている。

○「朝にわ」活動での子供たちの様子や地域の方々の見守りについて学校運営協議会にて報告を行い、改善点やより良い実施方法について意見交換を行い、実際の活動にも反映している。

○令和5年度に実施した教育調査では、「子どもは、学校生活を楽しんでいる」の設問に対する保護者の肯定率が81.8%と、区平均（75.2%）よりも高い。

3 特徴的な取組

- 学校運営協議会委員と6年生児童との意見交換
- 学校運営協議会委員と児童双方の意見交換を経て実現した「逃歩中」イベント
- 授業前の45分間校庭で体を動かす「朝にわ」
- 天体に詳しい地域協力者のもと実施した「星空を観る会」
- 6年生が卒業前に学校を探検する「夜の学校探検」

4 取組を通しての成果・効果

- 6年生との意見交流会を実施することにより、子供たちに「自分たちの考えが学校運営に生かされる」という実感が沸き、よりよい学校を創っていこうという意識につながった。児童からは「地域の人と交流ができて楽しかった」という声があがり、委員からは、「子供たちと直接触れ合うことによって学校の実情を知ることができ、地域の役割を考えるための参考になった」との声があがった。
- 「朝にわ」は町会、民生委員、スポーツ団体の指導者など幅広い分野の方々の協力を得て実施した。見守りだけではなく、一緒に遊ぶことで多世代交流にもつながっている。

5 参考

- 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰について

地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指すことを目的に、学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組のうち、その内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣が行う表彰

- ※ 令和2年度までの「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を一部改正して実施

- これまでの杉並区の表彰校

平成 23 年度	井草中学校	平成 29 年度	富士見丘中学校
平成 24 年度	杉並第一小学校	平成 30 年度	松庵小学校
平成 25 年度	桃井第四小学校	令和元年度	方南小学校
平成 26 年度	三谷小学校	令和 2 年度	杉並和泉学園 (以降隔年実施)
平成 27 年度	天沼小学校	令和 4 年度	中瀬中学校